看護部だより
ひまわり
２０１６年５月
発行責任者：小牧加代子
VoL. 42

ケアと接遇力で医療の質を高める・

平成28年度も2ヶ月が過ぎようとしていますが、今年度より整形外科医師が４名体制になったこともあり各部署日々繁雑な中、皆様の努力でチーム医療の充実や専門性の向上が図れて来ていることに感謝致します。

診療報酬改定に伴い新医療看護必要度評価を正しく行う力、退院調整の質と医療連携、認知症への対応力等が求められており、当院の未来を見据えて計画的に進む必要があります。その中でも一貫して必要なことは「医療の質を高める」ということにつきます。医療の質は、病院インディケータでホームページにも示されていますが、治療５０％接遇５０％とも言われ医療機関での接遇には心を癒す大きな役割があり、逆に心が癒されなくては治療に向かう力も半減してしまうと思います。看護の意義はそれを踏まえて一人一人の患者さんの力を引き出すケアにあるのだと考えます。院内でも７名が医療コンシェルジュの資格を取られています。その力もお借りして今年度は患者満足度１００％を目指し具体的な取り組みをしたいと思います。ご協力をお願い致します。

それぞれが自身で選んだ医療者であることに誇りを持ち、満足度も高められるように共に進みましょう。

・

看護部長　緒方くみ子

各部署　H28年度目標・グループ活動

外来

おもてなし・安心・信頼・スマイルの頭文字をとって「オアシス」としました、ホスピタリティの定着を目標に前年度に引き続きこの目標を掲げました。
グループをホスピタリティ・教育・PNSの３チームに編成。各グループが連携・連動しながら、具体的に活動計画を立案し、外来の目標を達成出来るように取り組みたいと思います。

手術室

「責任と思いやりの心を持ち、・
こころに寄り添う看護を提供する」
手術室ではこれまで看護の質の向上に向けて様々な取り組みをしてきました。
昨年度は手術室で血管確保を実施する流れを定着させ、それに伴い、オンコール手術の飲水をストップする時間を前日に指示するようになり、手術前脱水を予防することにも繋がっていると思います。これからも外来・病棟と協力しながらよりよい看護を目指して取り組んでいきたいと思っています。

3階東病棟

「責任ある看護の実践～基本に戻ろう～」
昨年から継続の目標になりますが、基本に戻る事で見えてきた事も多く、更なる充実を図ろうと考えています。
目標達成に向け、ホスピタリティ（おもてなし）グループでは接遇に重点をおき、看護職としてのマナー向上を目指します。レディストル（記録）グループでは看護が見える記録をめざし、看護記録の質にこだわってカンファレンスや計画評価の充実を図れるよう活動していきます。

3階西病棟

「専門性を高め、安心・安全な看護の提供を目指します」
川薩地区における整形外科領域において、より専門性を高め、患者さんが安心して手術加療が受けられるよう、安全で質の高い看護の提供に取り組みます。ベッド数１９床の病棟ではありますが、年間手術件数は４００件を超えています。患者さんは小児から高齢者の方まで非常に幅広く、沢山の方々との出会いがあります。医師をはじめ他医療職種との連携を図り、患者さん・ご家族が安心して治療がうけられるように取り組みます。
活動内容
１、褥瘡予防対策チーム目標：看護の質の保障、褥瘡発生率の減少
２、接遇チーム目標：患者満足度の向上をめざす
３、専門知識の向上、自己研鑽・・・全員で取り組む学習会・等の計画

4階東病棟

「信頼のおける看護を提供できる」
看護の本質である、「知識・技術・態度」をバランスよく保ちつつ、専門性の高い看護を提供したいと思っています。
具体的には、マニュアルに沿った看護技術の提供をはじめ、ＰＮＳの充実に向けた取り組み、そして、接遇の強化、学習会の開催など、各グループ活動の活性化を図りたいと考えています。
ピンクチーム目標：マニュアルに沿った看護技術の提供
イエローチーム目標：専門性の向上を図る

4階西病棟

『お互いを信頼し合い、患者のために行動できる』
病棟目標は昨年とあえて同様にしていますが、もう一度原点に戻り、お互いを信頼し合うとはどういう意味か、患者のために行動できるとはどういうことか、ひとりひとりがきちんと考え意識して行動ができるように目標を掲げました。
グループ活動
①ＰＮＳ推進チーム②退院支援充実チーム③看護必要度評価チーム④接遇・環境整備チームの４つから病棟目標達成に取り組んでいきたいと考えます。

地域包括ケア病棟

「患者・家族、それを支える地域の医療者の思いに沿った退院支援をめざします」～チーム連携強化～を目標としました。患者さんの在宅復帰をお手伝いする中で、患者さんは生活者であり入院生活は人生の中のごく一部にすぎないことに気付かされます。在宅の支援者との連携は必須であり、その人らしい入院生活をおくるために最も必要な事だと考えました。昨年度看護連携に取り組み地域の訪問看護師のみなさんと顔が見える関係づくりができました。今年度も引き続き地域連携の充実に取り組んでいきます。

回復リハビリ病棟

「チーム力を集結し、患者・家族の思いを達成させよう!!」
-Re：スタート-
平成２５年度よりＰＮＳ導入や退院支援システム再構築を図り、少しずつ成果に繋がってきました。
回復リハビリ病棟の活動・運営に医療チーム連携は必要不可欠です。今年度、セラピストの病棟体制が変更されセラピストリーダーの導入と自部署専従・専任スタッフが決まり、各種専門職の病棟担当者が明確になり病棟活動・運営も大きな変革の時になりました。これを機に看護職の役割の再確認と実践が求められる為、基本に立ち返り更なるパワーアップに繋げる時であると感じています。

業務委員会

「患者・家族・医療チームメンバーに見える看護の提供」を委員会の目標としています。昨年からPNSの再構築に向け、ＷＧを中心に業務委員会各部会、師長会、副師長会と協力し活動しています。今年度も継続しながら、各部会の活動の支援を行っていきます。
【情報管理部会】目標「患者・看護が見える看護記録の実践
～医療チーム間の連携を重視した看護記録の質改善に取り組もう」
【業務検討部会】目標「ＰＮＳ活動を通して受け持ち看護師としての役割が遂行できる。
看護の質評価において、退院時アンケートでの望む援助実施１００％を目指す」
【基準・手順検討部会】目標「安心・安全な看護を提供できる」

教育委員会

教育テーマ：「看護職員の自主性・自律性の向上を図り、キャリアデザインを描ける」
集合基礎研修と昨年に引き続き、e-ラーニング研修を継続します。必須研修・集合研修・選択研修をラダーレベル、個人に合ったライフスタイルでの受講を推進していきます。
また、教育体制の再構築として、日本看護協会の看護師用クリニカルラダー（看護実践能力主体）をもとに当院ラダーの見直しに着手します。
看護職の皆さんが自身の看護力を高められる機会となるように支援していきたいと考えています。

ＰＮＳワーキンググループ

活動目標：PNSの浸透・定着を図り、安全で質の高い看護を提供する
-自部署問題点の解決や夜勤帯導入を踏まえ更なる浸透へ向けて-

平成26年度よりPNS-ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ・ﾅｰｼﾝｸﾞ・ｼｽﾃﾑ-を導入しました。
１年間各部署の進行状況を確認しながら、確実に浸透・定着を図ることを核とし、安全で質の高い看護提供を目標に活動してきました。
PNS-WGの活動は２年間であり、今年度は集大成の時です。
導入当初、不安と不満と不安定性から理解し、活動に繋げられなかった所もありましたが、各部署の地道な活動と問題解決等の結果にて、概ね浸透・定着出来てきました。まだまだ部署間格差はありますが、自部署の特性に沿ったPNSに繋がっていると感じます。
今年度、更に問題点の解決を図り看護現場のイノベーションへと繋げ大きく飛躍する年でありたいと考え、活動してきます。

看護必要度ワーキンググループ

今年度「適切な看護必要度評価ができる」とし個人指導を全員に実施する事を目標に掲げています。４月からの診療報酬の改定に伴い、必要度評価項目にC項目が追加され、また基準超え患者割合が２５％と大幅に増えました。そのため日々必要度の動向を意識しつつ、患者に行った看護が記録されていなければなりません。目標とした個人指導を実施し、評価に見合った記録が出来るよう如いては患者に必要な看護が提供出来るよう活動していこうと考えます。

Ｈ２８年度　新人看護師紹介＆オリエンテーション風景

Happy Memory!!

宇都　一真

今回新人看護師として入職しました。
特技は小学校から高校までしていた卓球です。その卓球を通してなんでも一生懸命することや根性はつきました。他にもサッカーを見ることが好きです。
今年の目標は何でも積極的に見て、聞いて、学んでいきます。技術、知識ともにまだまだ未熟ですが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。

久保　朱里

四月より入職しました。鹿児島看護専門学校を卒業し４月より入職しました。趣味はバレーボールをすることで、今は社会人チームに所属しています。私は一人ひとりの患者様と接する時間を大切にしていきたいと考えています。・まだまだわからないことばかりでご迷惑をかけることもあると思いますが、一生懸命頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

土田　昂明

川内看護専門学校を卒業しました。趣味は特にありませんが歌手のＢ´ｚが好きでファンクラブに入っていました。実習や国家試験の勉強の為退会しましたが、また復活したいと思います。仕事とプライベートを両立させ、ワークライフバランスを保ちながら責任ある行動がとれる仕事をしていきたいと思います。
スタートラインの今を大切にし、しっかりと学習していきたいと思います。宜しくお願いします。

西村　弥生

４月より看護師としてローテーション研修をさせて頂いています。鹿児島医療福祉専門学校を卒業し、現在串木野在住です。
趣味が多く、簡単な裁縫や小物づくりや、気分転換にサイクリングで桜島などの景色の良い場所を走ることが好きです。
自身の過去の怪我や入院でお世話になった優しく力強い看護師に自分もなれるよう、精いっぱい努力していこうと思います。未熟な点も多々ありますが宜しくお願いします。

TODAY'S PHOTO

TODAY'S PHOTO

ハ丸　浩一

４月から新人看護師としてお世話になっています。看護師として新たにスタートを切り、緊張と共に、新しいことを学ぶことができる充実感を感じています。趣味と呼べることはありませんが中学・高校の頃にソフトテニスをしていたので健康のためにまた始めようと考えています。分からないことばかりでご迷惑をおかけすると思いますが、信頼される看護師になれるように頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

堀田　彰子

神村学園専修学校看護学科を卒業しました。・趣味はウォーキングや水泳などです。不慣れでご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、一生懸命努力して、少しでも患者様の支えとなる看護ができるように毎日頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

院外学会・研修報告

日本臨床腫瘍薬学会に参加して

がん化学療法看護認定看護師　濱田

日本臨床腫瘍薬学会は、薬物療法に関する学術研究を進歩させ、がん薬物療法の開発および普及を推進することを目的としています。今回、学会に参加し支持療法の研究のみならず曝露対策について多く発表されていました。悪心に対する支持療法は、ガイドラインが整備されていますが、悪心の程度に個人差があり、症状を完全に取り除くことはできません。▪
まだまだ課題の多い副作用対策であり、今後の副作用対策の動向に注目していきたいです。曝露対策は当院もまだ発展途上の状態です。今後の取り組みとして、CSTD（閉鎖式輸送管理システム）の導入やプライミングの方法のなど再検討し、スタッフの安全を守るシステムつくりに活かしたいです。

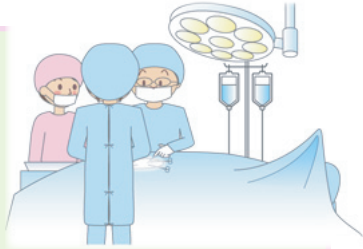
日本口腔ケア学会に参加して

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師　福永

4月23・24日に千葉県で開催された日本口腔ケア学会に参加し、ポスター発表を行いました。今回は「病棟看護師における口腔ケアの現状と課題」をテーマに発表を行いました。前年度皆さんにご協力いただいたアンケートを基に考察しましたが、毎日ケアをされている病棟の皆さんが悩みながらケアを行ったり、リンクナースを上手く活用できていないことが分かりました。この問題は当院だけでなく他施設の発表でも同様の結果であり、今後はリンクナースの育成が重要であることを再認識した学会でした。
　今年度は各病棟のリンクナースさんのスキルアップを目標に、病棟スタッフが何でも相談できる環境を整えていきたいと考えています。
私自身も毎週口腔ケア回診でラウンドを行っていますが、回診日以外でも相談があれば駆けつけますのでご連絡ください！

ミニナラティブ

手術室　宮内



　手術室に配属になり２ヶ月程経過したとき、初めて器械出しを担当しました。初めての器械出しはアキレス腱縫合の手術で、前日から手術に必要な物品の準備、器械の渡し方、糸のつけ方の練習をし、手順書を見ながら手術の流れを勉強しました。そしていざ当日、その手術を担当する医師へ「初めての器械出しです。よろしくお願いします」と挨拶をしたところ、「あなたは初めてかもしれないけど、患者さんにとってはそんなこと関係ない。患者さんから見たら医療従事者はみんなプロなんだから」と言われ、”はっ！”としました。確かに手術を受ける患者さんにとっては自分が初めてだろうが、ベテランだろうが手術内容に変わりはなく、「初めてだから」と甘えた考えを持っていた自分を見透かされ、恥ずかしくなり同時に気が引き締まったことを覚えています。
現在手術室に配属になり６年が経過しました。今でも手術を担当するときは、器械出しでも外回りでも緊張することに変わりはありませんが、その時の言葉と気持ちを思い出し、プロとして対応できるよう今後も努力していきたいと思います。

マイブーム

３階東病棟　畠中

　私が今一番はまっていることはダーツです。飲みに行ったときに先輩に連れて行ってもらい、先輩がしていたから何となく自分もしてみたのがきっかけでした。やってみると楽しくて、飲みに行った後は一人でもダーツバーに行き練習するようになりました。3、4年程前には川内でダーツのリーグ戦があり、院内の先輩、後輩達と楽しく参加しました。負けることが多く、自分の思ったようにいかない事もあり、悔しい思いばかりしました。現在は鹿児島市内のリーグ戦に参加し九州大会に行けるように頑張っています。まだまだ下手ですが少しでも上手に、そして強くなれるように努力していきたいと思います。ダーツを始めたことで、自分の趣味が増え、いい気分転換になっています。みなさんもリフレッシュしながら仕事を頑張っていきましょう。

編集後記

熊本の震災から１ヶ月が過ぎましたが、いまだに余震が続いている状況の中で、ここ最近大雨と晴天の極端な天気で震災を受けた方々は大変な思いをしているのだろうなと天気予報やニュースを見ながら思いを巡らしています。
今回の震災はお隣の県ということもあり、リアルに危機感を感じている方もたくさんいらっしゃるのではないでしょうか。私の家族は避難場所の確認や改めて防災備品や食料を買い揃え備蓄をしました。何かの災害が起きるたびに災害のことを考える機会となっています。みなさんはどんな対策をとっていますか。（小牧）